

1. 会合概要

- (1) 開催日時 2008 年 9 月 4 日 (木) 18:30~20:00
- (2) 場所 東京都新宿区西新宿 1-24-1
エステック情報ビル 21 階 会議室 (JR 線 新宿駅)
- (3) 今回の議長役 高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)
- (4) 議事録作成者 吉田 勇氣 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)
- (5) 今回の幹事 高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)
- (6) 出席者 河合 毅 氏 (株式会社 パスコ)
佐藤 稔 氏 (銀泉リスクソリューションズ 株式会社)
田中 洋次 氏 (AIU 保険会社)
野口 能久 氏 (株式会社 トータル保険サービス)
眞崎 達二郎 氏 (眞崎リスクマネジメント研究所)
山本 欣弥 氏 (株式会社 イー・アール・エス)
高橋 孝一 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)
吉田 勇氣 (株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント)
- (7) 欠席 國貞 至 氏 (株式会社 レスキューナウ)
古賀 順逸 氏 (株式会社 建設環境研究所)
山田 隆明 氏 (山田隆明公認会計士事務所)

ファイナンス研究会 計 11 名

(8) 主要な決定事項

■今年度 (20 年度) のファイナンス研究会の活動方針について

「今後、どのような調査・研究を実施していくのか」について研究会の会員より、メールで活動方針 (案) を募集することが決定した。

※活動方針案については、9 月 30 日 (火) 17:00 迄にメールにて連絡願います。

(9) 次回開催予定

開催日時 : 2008 年 10 月 8 日 (水) もしくは 10 月 9 日 (木) のいずれかの 18:00~21:00
開催場所 : 東京都新宿区西新宿 1-24-1
エステック情報ビル 21 階 会議室 (JR 線 新宿駅)

2. 議事内容

(1) 自己紹介

(2) これまでの活動内容の説明及び今年度の活動方針の検討

◆平成18年度にBC基本事項委員会 ファイナンス分科会において、「日本におけるBCPに関する資金調達手段（融資、保険、共済等）の現状と課題」について調査し、その調査結果と考察を一冊の調査報告書として取り纏めた。また、平成19年度に入り、これまで調査してきた資金調達手段のケーススタディ（支払事例や取引実績等）の調査を試みたものの、十分な調査にはいたらなかった。このことを踏まえ、今年度のファイナンス研究会の活動方針について、事務局より下記の案を提示し、議論を実施した。

<今年度の活動方針（案）>

- ・昨年度に引き続き、資金調達手段のケーススタディ（支払事例や取引実績など）の調査を実施。

【議事録】

- 保険の中でも、利益保険については、全く契約がないわけではないが、契約件数が少ないというのが現状であると思う。なぜなら、出せるキャパシティが少ないからである。
- 過去に地震が発生した時の支払事例を調査するのは、効果的であると考え。例えば、阪神・淡路大震災の時の政府系金融機関の災害復旧貸付の支払に関する情報は公開されているので調査をすることができるのではないかと思う。
- 新潟県中越沖地震等に、実際に被災した企業の復旧にいたるまでの資金繰りについても調査してはどうだろうか。
- これまで、ファイナンス分科会では、地震リスクに対する資金調達手段の調査を実施してきたが、地震以外のリスクである新型インフルエンザに対する資金調達手段についても調査することもよいと思う。なぜなら、新型インフルエンザリスクに関するキャッシュフローは、これまでほとんど議論されていないことだからである。

(3) 今後のスケジュールの確認

以上